

SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日> 令和7年5月21日

事業者情報					
事業者名		公益財団法人大田区産業振興協会			
代表者 職・氏名	職名	理事長			
	氏名	川野 正博			
ホームページ URL (任意)		https://www.pio-ota.jp/			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
区内事業者の環境への意識を浸透させ、環境に配慮した行動を促進します。そして、環境が守られた上で、産業集積の維持・発展と新産業の創造を通じて、産業の持続的な発展を目指します。					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
					
					
●	○	○			○
					

目標の達成に向けた重点的な取組内容等			
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)		SDGsゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	✓	【メイン】 9 【サブ】 8 <新製品・新技術開発支援> ・試作開発費用の一部を助成し、技術力、製品開発力の向上及び付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を図る。 ・区内中小企業の優秀な新製品・新技術を表彰し、販路拡大支援等を行うことで、開発を促進する。
	社会	✓	
	環境	✓	
②	経済	✓	【メイン】 8 【サブ】 12 <まちに優しい工場表彰制度> ・経営や技術、周辺環境との調和等の点において優れた模範となる区内企業を認定し、表彰する。 ・認定企業の優秀性を区内外にPRし、知名度や信用度を向上させ、環境に配慮した取組を促進する。
	社会	✓	
	環境	✓	
③	経済	✓	【メイン】 12 【サブ】 9 <環境負荷低減に向けた普及啓発> ・Pi0 フロントでのパンフレットの配架やISO等取得のための専門家支援を行う。 ・「OTA デジタル×Pi0」や「商いPi0」を活用した普及啓発を行う。
	社会	✓	
	環境	✓	

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	新製品・新技術開発への助成金では、申請件数38件のうち、社会問題解決やSDGs等の観点から優れた12件を採択しました。新製品・新技術コンクールでは申込件数が29件あり、優秀な製品・技術に対し、9件の区内企業が表彰されました。		
②	令和7年度は、10工場が優れた模範となる区内企業として認定されました。パンフレットや動画を作成し、認定企業の優秀性を特別サイトにてPRしました。		

③	<p>公式 LINE「OTA デジタル×Pi0」の登録者数は2,000 人を超え、「商い Pi0」についても年間 60 回更新し、400 人以上の登録者数があり、SDGs 関連のイベントや助成金の周知を行いました。また、Pi0 フロントにおいても SDGs に関連するパンフレットの配架を行いました。</p>		
---	--	--	--